



# 第7回高低気圧ワークショップ<sup>o</sup>

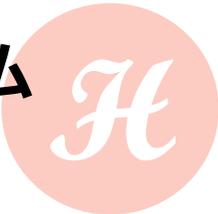


会場：富山大学 五福キャンパス 理学部1号館 A337教室  
(〒930-8555富山市五福3190番地)

会期：2026年2月18日（水）～19日（木）

世話人：平田英隆、栃本英伍、渡邊俊一、柳瀬亘、吉田聡  
LOC：田口文明

# 2/18 (水)のプログラム

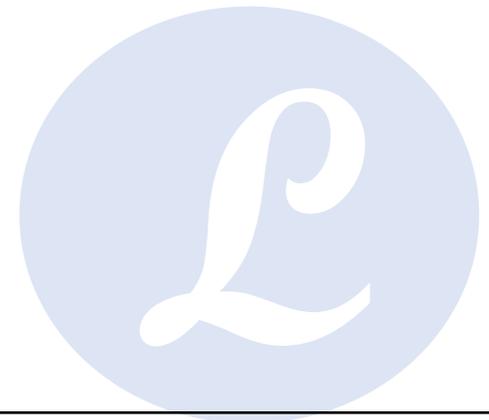






座長	time	発表者 (☆:学生)	所属	発表タイトルなど
-	13:00-13:10	-	-	はじめに・自己紹介
堀正岳	13:10-13:35	上野嵩朔☆	京都大学大学院理学研究科	領域気象モデルを用いた2018年西日本豪雨における対流圏上層トラフの影響の評価
	13:35-14:00	永坂郁也☆	富山大学	冬季日本付近を通過する上層切離低気圧の下層カップリング機構とその環境場依存性
	14:00-14:25	小川泰生☆	京都大学大学院理学研究科	北太平洋ストームトラックの季節内変動に対する上流の役割 -2023/24年寒候期の事例-
	14:25-14:50	佐藤 瞭☆	東京大学 先端科学技術研究センター	冬季北太平洋域における大気内部駆動テレコネクションパターン : 温暖化による変化に対するエネルギー論的考察
-	14:50-15:05	-	-	休憩
杉本憲彦	15:05-15:30	金野 大和☆	京都大学大学院理学研究科	実効 $\beta$ ジャイアによる台風の移動
	15:30-15:55	久米田健人☆	慶應義塾大学	台風の移動速度を考慮した最大発達強度(MPI)について
	15:55-16:20	工藤みあ☆	筑波大学	梅雨前線低気圧による西日本の降水特性の変化
	16:20-16:45	戸田向日葵☆	新潟大学	九州地方に豪雨をもたらす梅雨前線低気圧
-	16:45-17:00	-	-	バッファ

# 2/19 (木)のプログラム



座長	time	発表者 (☆:学生)	所属	発表タイトルなど
永坂郁也 (学生)	9:15-9:40	平田英隆	立正大学	New York Cityの大雨発生における低気圧とメキシコ湾流の役割
	9:40-10:05	西井和晃	三重大学大学院生物資源学研究科	黒潮続流の変動に対する大規模大気応答
	10:05-10:30	田村健太	防災科学技術研究所	2026年1月下旬に大雪をもたらした気圧配置の特徴とその気候変動影響評価
	10:30-10:55	春日悟	北海道大学	北海道西岸で停滞するポーラーロウの停滞要因の力学的解析
	10:55-11:20	渡邊俊一	気象研究所	積雲スケールの気圧偏差から見た線状降水帯の維持機構
	11:20-11:45	栃本英伍	気象研究所	日本付近の”Cyclone Clustering”
-	11:45-12:00	-	-	総合討論

